

体験交え舗装PR

NIPPO、都内
小学校で出前授業

NIPPOは、東京都の港区立立筈小学校(西麻布3)が13日に開いた企業の出前授業「キャリアパスポートデー」に参加した。「『みち』ってなに？」をテーマに、実験や体験を交えて道路の歴史や舗装の役割などを伝えた。



路面の違いでミニカーの走行
具合を比較(NIPPO提供)

キャリアパスポートデーは会社や職業の疑似体験を通じ、働くことや夢を持つことの大切さを発見してもらおうと開催。当日は多彩な業種の11社が出前授業に

参加した。

NIPPOは技術企画室と総務部に所属する社員が4年生26人を担当。▽ミニカーを使った異なる路面での走行比較▽排水性舗装内を透水する体験▽供試体によってボールの跳ね返りが変わる実験▽遮熱性舗装と通常舗装の表面温度比較▽アスファルトの引っ張り強

度体験などをを行った。児童は初めての実験や体験に興味津々の様子だった。

NIPPOの金澤守技術企画室技術推進課長は出前授業を振り返り「こうした機会を通じて児童が道づくりの仕事に関心を持ち、将来の職業選択のきっかけにしてもらえればうれしい」と期待を寄せた。

実験で道路舗装学ぶ

NIPPOが港区 の弁小で出前授業

NIPPOは、東京都港区立弁小のキャリアパスポートデーに協力し、4年生の児童26人を対象に出前授業を行った。写真。

キャリアパスポートデーは、会社や職業のさまざまな現場を疑似体験してもらい、働くことや夢を持つ大切さを発見する場として開催。多彩な業種の企業が出前授業を行っている。

同社は、技術企画室・総務部が「『みち』ってなに？」をテーマに、路面の違いによるミニカーの走行具合の比較、排水性舗装内を透水する



体験、供試体によってボールの跳ね返りが変わる実験、遮熱性舗装と通常の舗装の表面温度の比較、アスファルトの引っ張り強度の体験を通じて、道路の歴史や舗装の種類を学んでもらった。

キャリアパスポートデーを担当する技術企画室の金澤守技術推進課長は「このような機会を通して、『道づくり』の仕事に関心を持ち、将来の職業を選択するきっかけになれば」としている。